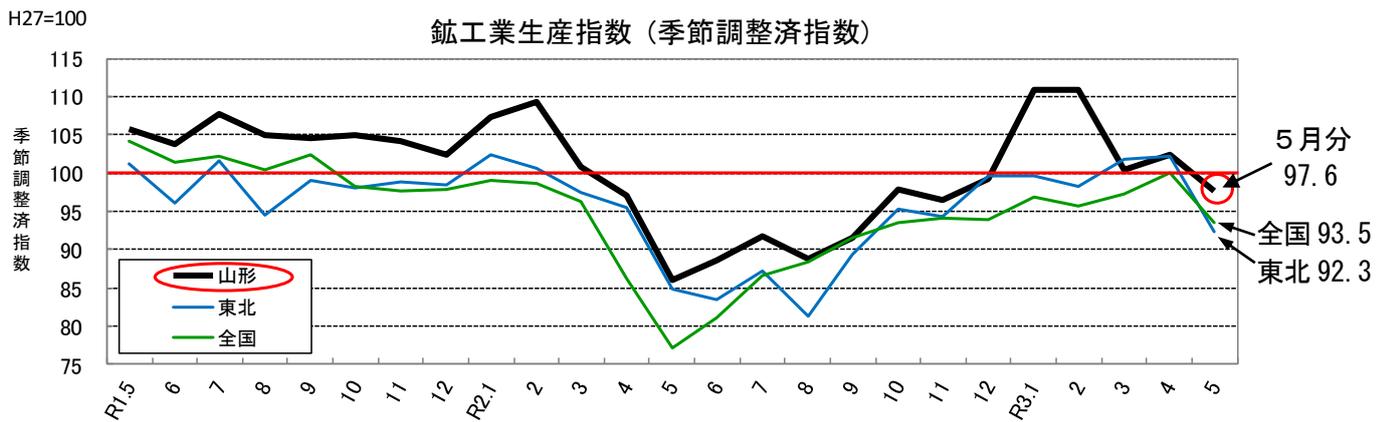


山形県鉱工業指数 令和3年5月分(速報)について

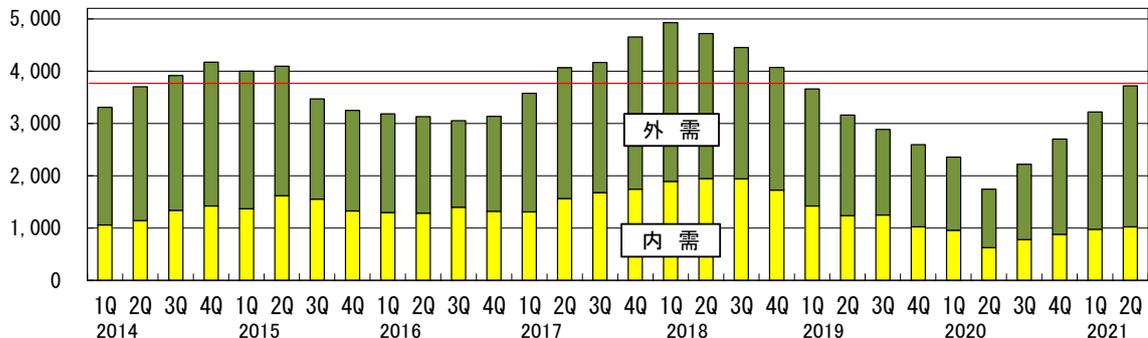
本県の令和3年5月の鉱工業生産指数(H27=100)は、97.6で前月比▲4.7%と2か月ぶりの低下となりました。これは、昨年度のGIGAスクール構想による情報通信機器の需要が一巡したこと、半導体不足の影響により自動車等の生産が制約されたことなどによるものです。

なお、経済産業省の見通し(全国)によると、工作機械などの世界的な需要の増加を受けて、6月は前月比+9.1%の上昇と見込まれております一方、半導体不足の影響も懸念されますので、引き続き各種指標を注視してまいります。



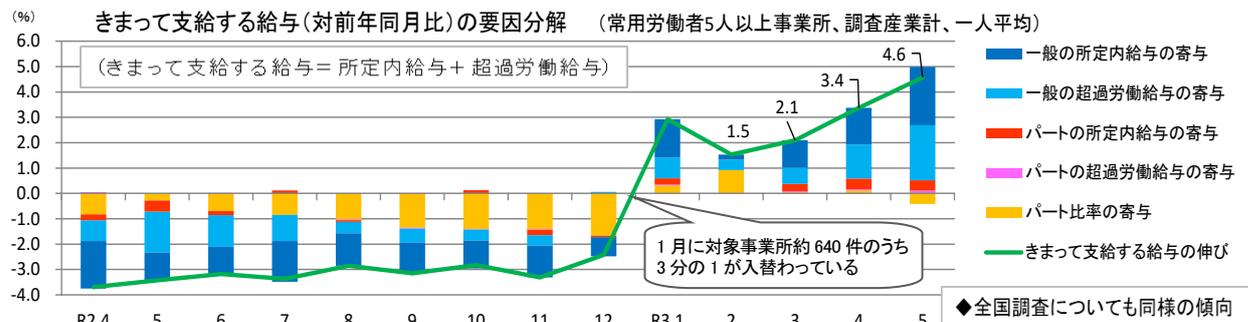
(参考)

全国 工作機械受注高(四半期計) (日本工作機械工業会調査) (単位:億円)



中国を中心に、欧米でも投資が拡大していることに加え、内需も緩やかながら回復基調が続き、コロナ禍及び米中貿易摩擦激化の影響を受ける前の水準に戻ってきている。

【参考】毎月勤労統計調査地方調査結果(令和3年5月分)



常用労働者の給与額について、製造業のみならず、宿泊業、飲食サービス業や教育、学習支援業等多くの産業において回復してきている。

※「パート比率の寄与」については、パートタイム労働者(=給与水準は低い)の雇用数が増えているため、給与額の平均に対してはマイナスの影響を示しているが、給与の総額及び雇用の面では好調であることを示している。